

1. 民営化について

①民間事業先および新保育園の概要（建築計画等）について公開してほしい。

【回答】新園の運営事業者については、現在のところ未定です。具体的な保育園の建築計画は事業者が決定後、事業者とともに行いますので、まだ開始しておりません。ただし、日野市の最重要課題である待機児童解消のため、保育園の定員を現在の 110 名から 130 名へ拡大することを条件とする予定です。

②民営化によるメリット・デメリットについて説明してほしい。（なぜ民営化が必要なのか。）

【回答】民営化の理由について

日野市では、深刻な財源不足が見込まれる中、事業の縮小や休・廃止を含め、日野市全体の事業の見直しが避けられない状況です。保育園や児童館、学童クラブ等の子育て関連施設も例外なく含まれます。しかしながら、日野市の待機児童数は、例年 100 人を超えており、保育が必要であるにも関わらず保育園に入れない方がいる状況が続いておりますので、保育事業においてはさらなる拡大が必要です。事業拡大には財源の確保が重要な課題となります。公立保育園 1 園を運営するためには約 1 億 5 千万円かかりますが、民間保育園は国・都の補助金を活用できるため、約半分の費用で運営できます。つまり、公立保育園 1 園を民営化することで、民間保育園 2 園をつくることができます。日野市全体の政策として待機児童解消に向けた取り組みを更に推し進めるため、民営化による財源の確保が必要となります。

民営化によるメリット・デメリットについて

公立保育園・民間保育園ともに、子どもの健康や安全の確保、発達の保障や保護者支援という基本的な考え方は同じです。ただし、具体的な保育の仕方や行事等は、各運営事業者の保育理念や独自性、創意工夫によるところが大きいため、違いが生じます。また、延長保育料やご家庭で準備していただくもの、保護者会の運営方法等、多くの点で現在とは違いが生じる可能性があります。

民営化にあたっては、子どもたちや保護者の皆様の負担が少なく、安心して保育が受けられるよう、今後、保護者の皆様と話し合い、一緒に考えていきたいと思っております。保護者の皆様の協力をいただきながら、新しい保育園をよりよい保育園にしていくことが日野市の責務と考えています。

③現敷地内に建設するのなら、空き地に園舎を新築→引越→旧園舎解体という計画は無理なのか？無理ならその理由について教えてください。

【回答】日野市では、以下の 2 通りを検討しました。

1. 現園庭に新園舎を建設する場合

→現園舎の配置では南側に園庭を確保しているが、園庭に新園舎を建築した場合、園舎の北側に園庭を配置することとなり、日当たり、眺望等が非常に悪くなるため、現在の良好な保育環境を保つことが困難である。

2. 現園庭に仮設園舎を建設し、現園舎解体跡に新園舎を建設する。

→仮設園舎建設、現園舎解体、新園舎建設の期間（約 1 年半）は園庭を使用する事ができず、工事中の騒音・振動に加え、重機等の稼働、工事車両が往来する中では安全で良好な保育環境を保つことが

困難である。

- ④2016年4月より新園舎の測量・設計・7月建設着工とあるが、竣工は2017年3月なのか？また、むこうじま保育園（旧たかはた保育園）のときにも同じスケジュールを組んでいて、結果的に完成が開園に間に合わなかったという前例があるが、この計画で大丈夫なのか。

【回答】むこうじま保育園は複合施設として建設されており、建物全体の建築面積は約1,600㎡、延床面積は2,500㎡以上の建物です。現在のとよだ保育園園舎と比較すると、建築面積で約3倍、延床面積で約5倍の規模の建物となります。むこうじま保育園の工事では、保育園部分以外の建物全体の工事の進捗状況の影響を受け、保育園の工事が進まないという状況が発生しましたが、とよだ保育園は単独施設として建設しますので、むこうじま保育園で発生したような状況は発生しないと考えております。また、とよだ保育園と同規模の保育園の建設工事期間も考慮して判断しております。

- ⑤現園舎をリノベーション・増築等による再整備の検討はあったのか。（現園舎は確かに老朽化しているが、耐震補強工事も実施されており、先生方の対応も含めてアットホームな環境に満足している保護者も多い）

【回答】とよだ保育園の園舎整備については平成24年度に検討しております。その結果は、とよだ保育園の園舎は築50年以上経過しており、本格的な耐震補強工事には約8千万の経費がかかりますが、耐用年数は10年程度が限度であるため建替えが必須というものでした。この結果を踏まえ、5・6年後に現在の場所又は豊田地区に新園舎を建設し、民営化を図るという方針を決定しております。平成24年度に実施した耐震性の向上を図る工事（壁の筋交いの交換及び増設、瓦屋根の鉄板屋根への改修による軽量化及び天井補強）は新園舎建設までの5・6年の間、当面の安全を確保するために行いました。

- ⑥民営化になる際の事業主はどのように決定しているのか。何を基準に・何を根拠に選定されているのか、明らかにしてほしい。現在、むこうじま保育園の状況は、落ち着いていて安心できるものではないと聞いている。本当にこのまま民営化を進めていって大丈夫なのか。

【回答】運営事業者については、経営が安定しているか、保育の質が確保できるか等の観点を踏まえて決定したいと考えています。決定にあたっては保育課のみではなく、第三者を含めた審査会を開催して決定することを想定しています。

2. 移転スケジュールについて

- ①測量着手前（2015年12月）から仮園舎にて保育を開始する理由について教えてほしい。

現敷地内に新園舎を建築するにしても、仮園舎での保育開始は解体等を考慮しても2016年春でよいのではないかと。

【回答】1④、2②の回答のとおりです。

- ②年度末（卒園）まで待っての移動は選択肢にないのか。「あと3カ月で卒園」という時期での移動は、園児・保護者への負担増と考える。大きな環境の変化となる小学校入学を4月に控えている中で、子どもたちがその直前にも環境の変化と適応を余儀なくされることになり、落ち着いて生活していけるのか大変心配である。余裕をもったスケジュール（建設期間・移転期間など）を考え、1年先に延ばすことを検討していただけないか。

【回答】 1②の回答と重複しますが、公立園を1園民営化することにより、民間園2園の開設が可能です。日野市には、保育園に入りたくても入れない方が100名以上いらっしゃるという状況が続いているため、早急な対応が必要です。日野市の厳しい財政状況の中では、新たな財源なしに保育園を開設することは困難ですので、とよだ保育園の民営化を遅らせた場合、新たな保育園の開設計画も先送りとなってしまいます。一刻も早く日野市の最重要課題である待機児童を解消するため、平成29年4月とさせていただきます。

とよだ保育園の在園児の皆様、保護者の皆様に変な負担をお掛けすることは十分認識しております。今後、保護者の皆様との話し合いの中で、少しでも負担を軽減し、在園児や保護者の皆様の不安を解消していく方法を決めていきたいと思っております。

3. 仮園舎について

①浅川の区画整理地内とあるが、現在地より遠すぎないか。駅近くの区画整理地内に建設できないのか。

【回答】 仮園舎の建設地については、出来るだけ現在地に近い場所を探しておりました。豊田駅南口の区画整理地内も模索しましたが、仮園舎を建設する適当な場所が見つからず、現在お示した場所となりました。仮園舎が駅から遠くなり、保護者の皆様にご不便をおかけすることになりますので、今後の話し合いの中で、負担軽減のためにはどのような対応策をとれるのかを決めていきたいと思っております。

②仮園舎の構造や規模・設備について公開してほしい。

【回答】 仮園舎については平成27年度予算計上後、平成27年度に事業者を決定します。具体的な設計は事業者決定後になりますので、現段階では未定ですが、参考としては、平成26年度に公立みなみだいら保育園の仮設園舎として建設する仕様書は別紙のとおりです。

③とよだ保育園の現3歳児クラス以上は、現在地での保育が可能なものと思っていたのに何も説明がなかったのはおかしい。確かにそれ以下のクラスの場合は、入園のしおりに「28年度・29年度民営化する」という説明があった。それによってそれより上のクラスは何も影響がないと捉えていた。とよだ保育園という名前があれば（民営化していなければ）いいという話ではないはずだ。仮園舎での保育というように保育の場所・環境が変わるなど影響がある可能性があったならば早く教えてほしかった。

【回答】 平成27年度卒園児の皆様には大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。とよだ保育園の新園舎の建設場所に関しましては、別の場所に移転することを含めて検討しておりましたが、現園舎に建築することとなり、現在のスケジュールをお示したところでした。今後、保護者の皆様と民営化に関する話し合いを進めていくこととなりますが、情報は速やかに提供し、今回のようなご指摘を受けないように努めていきたいと考えております。

■今回のとよだ保育園の民営化（移動）は、「旧施設から新施設となり民営化されることにより園児・保護者にとって大きなメリットである。」と市は考えていると思うが、園児・保護者にとって大きな負担増となる。このことを考慮して市には計画を進めていただきたいと考えます。

- ・園児の環境の変化による影響の懸念
- ・園児の送迎時間の変更等、生活リズムの変更が生じることへの懸念
- ・民営化に伴うルール変更や費用負担増の懸念

【回答】 民営化による在園児、保護者の皆様のご負担は十分に認識しております。少しでも負担を軽減するよう、話し合いを重ねていきたいと考えております。